



金森さんが栽培している春野菜の一部をご紹介します!



ブロッコリー



ネギ苗



タマネギ



菜の花

PROFILE

かなもり かつとし
金森 勝利さん(75歳)

愛西市西川端町



産直便

第二の人生 農業に挑戦中!

金森さんは30アールの畑で35品目、約50品種を露地栽培しています。もともと野菜作りに興味があったそう。野菜の生命力に魅力を感じていた金森さんは、大手百貨店を15年前に定年退職されたことを機に就農しました。JAの農業塾で農の基本を学ばれた後、愛菜耕房(グリーンセンター津島店)の出荷組織である産直部会に加入し、本格的に出荷をはじめました。

野菜作りは多品種生産を心がけているそう。どのようにして栽培技術を日々磨かれたのか伺ったところ、「定期的に開催される産直部会の講習会に積極的に参加したり、他の先輩会員に農業について色々教えていただきました」と金森さんは話します。毎年失敗を重ねながら、春夏・秋冬作物の野菜作りを繰り返し、現在では安定して年間出荷できるようになったそうです。

常に消費者ニーズに合った売れる野菜の栽培を追求した結果、金森さんは多品種・少量生産の現在の形に辿り着きました。シーズンごとに出荷した品種の売り上げ記録を精査し、下位だった品目を他品種に更新するなど、常に消費者ニーズに基づいた栽培に挑戦しています。また、百貨店勤務時代の経験を活かし、他のスーパーやホームセンターの市場調査も行い、栽培品目の選定や価格設定にも随時反映させています。

現在は、ブロッコリーやほうれん草、小松菜、菜の花、ネギ苗、ハッサクの出荷と忙しい日々を送っています。今年は一層の暖冬の影響で、ブロッコリーや小松菜、ほうれん草の生育が早く、収穫が追いつかないほどだったそうです。

産直について金森さんは、「育てた野菜が売れることが、農業を続ける意欲や励みにつながっています。また一消費者として、安全・安心で鮮度の良い野菜がお値打ちに買えることが魅力です」と話します。

「第二の人生を充実させてくれた愛菜耕房は自分にとって大切な存在です」と語る金森さんは今日も、愛菜耕房へ出荷することが自分の健康づくりの秘訣と考え、産直仲間と一緒に新鮮な野菜を朝一番に搬入します。

最後に今後の抱負について「産直品が安全・安心なのは当たり前で、大前提と思っています。また、流通の面から、鮮度は他のスーパーには絶対に負けません。より品質を高め、消費者の方から愛され、信頼される野菜づくりをこれからも続けていきます」と話していただきました。

愛菜耕房 (グリーンセンター津島店)

愛知県津島市大縄町9丁目71-1
TEL:0567-23-3511
営業時間 9:00-18:00
定休日 月曜日

毎朝、地域の生産者の方々が新鮮な野菜や切花、苗、鉢花を出荷しています。安全・安心をモットーに魅力的な産直品が多く並んでいますので、ぜひ足を運んでみてください。産直品の植札ラベルには生産者の方の名前が印字されています。

産直便